

スキーマスターズ出場  
日本人初の連続 10 回達成  
オリンピックメダル視野に  
選手強化のスウェーデン  
冬季アジア競技大会入賞確  
信のカザフスタン  
願いはスキーの 2018 冬季  
オリンピック

### 武石マスターズ参加は使命？

日本は1996年リレハンメルでのスキーオリエンテーリング世界選手権にチーム体裁を整えて初参加。

以来、日本チームは世界選手権に途切れることなく参加、参加国として常連になり昨年はホスト国としてルツに世界のトップアスリートを迎えて運営にも一応の及第点を付けられた。

私は1998長野オリンピック関連イベントのコントローラーをはじめとして、トレイン適地を求めて国内普及のため講習会や大会を主催していたが、それは自分も国際大会に出るための関わりでの継続であった。

ヨーロッパのレースに出場したい気持ちや年々強くなっていくが、当時、マスターズ開催はフットOだけ、私も何回か出て楽しんでいましたがIOFとしてスキーマスターズは開催されていなかった。

そこでワールドカップに目をつけた。スキーO合宿に集まる仲間を誘い、2000年1月ボカティとカヤーニで開催されたワールドカップに参加を申し込んだ。

年齢も60歳を過ぎて体力的な疑問もあったが兎に角参加したい一心だった。ワールドカップ選手としてはギネスブックものだろうと認識しています。

ワールドカップ参加の翌年、チェコでスキーマスターズが開かれることを知り、早速エントリー、国内事情もあり時には世界選手権のチームリーダーとして責務を果たしながら今年で10年の連続参加を達成しました。

私をそこまでスキーOに執着させるのは、私が国内に本格的なスキーO導入の張本人であることも心底にあります。冬季オリンピックにこの競技を登場させるには、IOFイベントに日本が、日本選手の参加こそが重要だと認識し、私に課せられた使命と感じているほか



ワールドカップ：ME&WE / ヨーロッパ選手権：ME&WE / ジュニア世界選手権：M&W / ヨーロッパユース選手権：M&W  
優勝チームは、スウェーデンが全種目奇跡的な完全優勝を果たした。主催者は優勝選手とチームオフィシャル全員をステージに上げ、歴史的快挙を称えた。

ありません。

### ■迷子になる覚悟での申込■



ミュンヘン地下鉄ホームの筆者

自分に課した使命を達成するため今年もマスターズにエントリーした。

同行の士を募集しても名乗る者は一人も現れない。WC/EOC/JWOC/EYOCが併設されているビッグプログラムなのだが???、シニアの諸君はルツでモチベーションを失ったのだろうか?孫にEYOC挑戦を持ちかけても学業と部活(高1)のことが障害になり返事は「今年はNo」。

私は迷子になることも辞さない覚悟を決め、締切に数日早かったが1次エントリーフォームを送信した。その翌日、堀江君からWC参加の意向を伝えられ迷子になることから開放されたのだった。そこには、将来オリンピック競技となることを信じて疑わない国内スキーO最大支援者でありアークコミュニケーションズオーナー大里真理子氏が存在していることを私たちは忘れることが出来ない。

事実、迷子事件の勃発要素はプタペストのオトベニ空港到着から競技期間

をはじめ幾多となく現れ、私の動物的行動感覚を阻害し、その都度堀江君の存在でクリアしてきた。

参考のため付け加えますが、ルーマニアはEU加盟国でありながら通貨はレウ(RON)であり、ルーマニア入国したその時点から交通や飲食の小遣いとしてレウが必要であるが日本の銀行で入手は適わなかった。

(武石雄市)



フィニッシュレーンを力走の堀江

### 堀江のワールドカップ

#### WC(ワールドカップ)のレース結果

2/10	ミドル	62位	1:01:58(141%)
2/11	ロング	45位	2:26:31(130%)
2/13	スプリント	54位	16:42(129%)
2/14	リレー	オープン参加	1走

世界選手権では1種目あたり各国4名参加できるに対し、ワールドカップでは6名出走できるため順位的にはさえない結果でした。結果は1種目6名出場できることを除いても、今シーズ

ンのトレーニング状況が現れた厳しい結果です。

今回のレースは、大きな地形の中で、ナビゲーションの難易度は低く、その分、スピードを要求されるコースでした。

### ミドル

1番コントロールからルートチョイスが分かれるロングレグ。私は左回りのピステ道を通ったが、ゆるやかな登りで距離が長い分遅かったか？全体的にスピードを上げられず、ミスのないオリエンテーリングを心がけて慎重に進んだ。

今シーズン1レース目は苦しかった。宿に帰ってからも、頭から疲労が抜けない感じ。

### ロング

前日ミドルの結果から、長時間のレースになることが予想された。

一斉スタート直後に、集団での大クラッシュ発生。私は難を逃れ、淡々と1ポに向かう。途中、イエローゼッケン（ワールドカップトップ）を付けたロシアのエドワードに追いつかれる。

コースパターンの影響もあり、1枚目は強豪国の選手が見える位置でマップ交換。コースの難易度は低かった。

力を出すところ、抑えるところのメリハリをつけ、レースを進めた。終盤で疲れからか、油断からか2か所ミスをしてしまった。二時間半近い長距離レースだったが、体が慣れてきたためか、ミドル後のような疲労感はなかった。

### 休養日

武石さんと主催者が準備している観光ツアーに参加予定だった。しかし、当日の朝パソコンで大会サイトを確認すると「天気が悪いため、ツアー中止」とのこと。仕方ないので、イベントセンター付近の街に行き午前中を過ごす。

主に郵便局探して終わったが、途中晴れ間もあり、外を歩いていても気持ちよかった。今回の宿は街から4kmほど離れた郊外にあり、近くにはガソリンスタンドくらいしかなかった。

スウェーデンのワールドカップチーム20名程、フィンランドのマスターズ参加者6名と同じ宿だった。

### スプリント

大雪の影響で圧雪が間に合わないとの情報もあったが、それほど積雪ではなかった。ほとんど見えるコントロールで、走力勝負。

ロングの15,000から5,000分の1とのギャップに、最初は距離感をつかみにくかった。



標高1100m付近の会場。大きな地形の中に針葉樹林とオープンが混在



スタートに隣接するフィニッシュレーンサイトで応援するルーマニアの女性達、吸血鬼ドラキュラ伝説の国なので女性吸血鬼？ 筆者（武石）は、この女性たちに引き連れ込まれ、オープニングセレモニーでも振舞われた大量の甘いパンを食べさせられホットワインを飲まされた。ワインの美味しかったことが印象的だった。

### リレー

リレーだけ別のテレインで行われた。さらに標高が高いエリアで、テレインのタイプも積雪量も違った。2、3日前からの積雪が多かったため、日本のようなふかふかなコース。

モービルトラックの登りでは、ほとんどの選手がスキーを脱いで走っていた。林の中のオリエンテーリング中心で、北欧のスキー0に近いイメージだった。

### その他

ロシア遠征のときほどではなかったが、ホテルと会場とのバス輸送に問題があった。席が足りずバスに座れない選手がいたり、予定時間より10分以上早くバスが発射したため、多人数の人が乗り遅れたり、当日の朝になって突

然バス時間が変更されていたり。

私たちホテルは問題なかったが数時間分の停電になったホテルもあったようだ。

運営者の対応、愛想はとてもよかった。少人数での運営のようだったが、空港での出迎えからバンケットから帰るまで、とてもよくしてくれた。

最後に、今大会はジュニア、ユース、マスターズも同時開催でした。中でもジュニアやユースの結果からは、各国の将来像が垣間見れました。強かったのは、スウェーデンです。表彰台に上がった選手も多かったですし、参加者も多かったです。

(堀江守弘)